

Interview



ライフル射撃を始めたきっかけは
小学4年生の頃、姉が高校の部活動でライフル射撃をしていて、ある大会に応援に行ったとき、この競技に興味を持ったのがきっかけです。

ライフル射撃で着用するコートやライフルがとても重いイメージですが

コートもライフルも4~5kgぐらいの重さがあります。着用するコートは生地に厚みもあって硬いので、夏の時期は厳しいです。もう慣れましたが、大会では、45分間立ち姿勢で的に当てるので、集中力と忍耐力を持続させることが重要で結果にもつながります。今は、練習も大会への出場もとても楽しいです。



ライフルを構える様子

今後の目標は

今、チームからエアライフルの種目に挑戦しようと考えています。ライフルの重さが異なるのでコツをつかむのが難しいですが、次はエアライフルで全国大会での入賞を目指したいと思います。

千葉黎明高等学校1年

實川 巧起さん(光中学校出身)

ビームライフル射撃で快挙

2023年度JOCジュニアオリンピックカップ 2位
2023年鹿児島国体 2位(個人)・8位入賞(男女ペア)

9月・10月に開催されたビームライフル射撃の各大会で、複数の上位入賞の快挙を果たした實川 巧起さん(光中学校出身)が、大会結果の報告に役場を表敬訪問されました。



光中学校3年

椎名 美月さん

千葉県代表選手として大活躍

第38回東日本女子駅伝競技大会

11月12日、福島県福島市で第38回東日本女子駅伝競技大会が開催され、椎名 美月さん(光中学校3年)が千葉県代表選手として出場しました。

全国から有力な選手が集まる中、第4区走者として素晴らしい走りを見せ、千葉県は第4位の好成績を収めました。



第4区で力走する椎名さん

Interview



陸上を始めたきっかけは

小学生の頃、姉がいつも走る練習をしていたので、自然と一緒に走っていました。クラブチームに所属し、いろいろな種目を試していたのですが、長距離に向いているのかなと感じて今に至っています。

長い距離を走るのには苦しい時間があると思いますが

苦しいと感じる時もあります。でも、走り切ったときは達成感を感じられますし、「走る」ことが好きだな、楽しいと思いながら陸上に取り組んでいます。

今後の目標は

高校に進学しても、陸上は続けたいと考えています。そして、大きな大会への出場も再挑戦したいと思います。

